

水道条例の一部改正に論議集中

学校・下水道整備など工事請負契約七件

昭和五十六年六月北九州市議会定例会を六月二十三日から七日間の会期で開き、六月二十九日に終りました。

今議会に市長から提出された議案は、専決処分報告十九件、条例の一部改正十二件、その他の議案二十一件、計五十二件でした。

今議会において、特に論議の焦点となったのは、水道条例の一部改正問題でした。いずれの議案も慎重かつ熱心に審議した結果、市長提出議案をすべて原案のとおり可決しました。一方、議員から提出された議案は九件で、いずれも満場一致で可決されました。

市長提出

- ◎北九州市市税条例の一部改正
地方税法の改正に伴い、法人市民税に係る法人税割の税率を十二パーセントから十二・三パーセントに改めるもの
- ◎北九州市港湾施設管理条例の一部改正
港湾施設の使用料を改めるもの

決まった主なもの

- ◎北九州市水道条例の一部改正
水道料金などを改めるもの
- ◎土地の取得（三件）
・若松区大字高須に所在する土地を仮称第三洞北中学校用地として買い入れるもの
・小倉南区大字貫及び大字田原に所在する土地を文化記念公園用地として買い入れるもの
・八幡西区大字本城及び洞北町に所在する土地を奥洞海緑地として買い入れるもの
- ◎仮称第二志徳中学校建築工事請負契約締結
契約金額 四億、八〇〇万円

議員提出

- ◎門司区、小倉北区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区の農業委員会委員の推せん
- ◎郵便貯金の現行制度の存続に関する意見書

- ◎婦人に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約の早期批准に関する意見書
- ◎非核三原則の堅持に関する意見書

虚礼廃止を申し合わせ

議会運営委員会において、次のとおり虚礼廃止について申し合わせがなされました。
市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

虚礼廃止についての申し合わせ
本市議会においては、公職選挙法の「寄附の禁止」の規定の厳守に加え、より厳しい自主的規制として次のとおり申し合わせをし、これを励行するものとする。

記

- 一、虚礼にわたる書中見舞は一切廃止する。
- 二、議会は、本申し合わせの趣旨の徹底を図るため「議会だより」等を通じて周知する。

昭和五十六年六月二十七日



遠賀川河回せき

6月定例会

質疑 応答



六月二十三日から三日間、本会議で十八人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政一般に対する質問を行いました。その中から主なものを取り上げました。

水道問題をめぐって

過大値上げではないか

議員 五十年の水道料金値上げは、九十パーセントを越す大幅なもので、五十三年までの見込みでしたが、実際には五十五年度いっぱいまで改定せずにきました。これは、前回の引き上げ額が過大であり、この延びた二年間分がその値上げの中に含まれていたとも考えられます。

今回の四十二・七パーセントの値上げの理由に、六十年三月まで現行の料金でいくと、百六十億円余りの累積赤字が出ることもあげられています。

しかし、この計算には前回と同じような過大な見込みがあるのではないのでしょうか。

水道局長 今回の改定をお願いするに当たり、全ての項目について、必要最少限度の価格というものを十分検討して、最も適切な額と考えて計上しました。六十年三月までには、電気料金

等も上がるのではなからうかと考えています。

また、今後、国庫補助金、起債などの額、条件が相当厳しくなることも考えられます。

このような不確実な要素は料金算定に含めないという前提でやっています。

決して、過大な見積りではないと考えています。

一般家庭用の基本料金は低く

議員 一般用十三ミリ口径基本料金は現行五百円で政令指定市の中で五番目ですが、改正案では五百九十円となり三番目にはね上がります。

低所得世帯が最も多いこのクラスの基本料金はすえおいて、従量料金によって適正化を図るべきだと思いますが、いかがですか。

水道局長 今回の改定に当たり一般家庭の基本料金はできるだけ低く押さえないということ、直接給水に必要な経費だけをいた

くことにしました。

その結果、一立方メートル当たりの料金が五十九円、つまり十立方メートルで五百九十円となり、改定率は十八パーセントとなりました。

全体の平均改定率が四十二・七パーセントですから、思いきって低額に押えたといえます。

水資源の開発は必要か

議員 今日の上水道会計の赤字の主な原因は、水資源開発に多額の資金を注ぎ込んできたことにあります。

水資源開発計画は、水需要予測に基づいて作られていますが、長期構想におけるこの予測は総合的にみて過大であり、それに基づく水資源開発計画もまた過大と言わざるをえません。

使う見込みのない水資源をむやみに開発するのは、無駄ではないでしょうか。

市長 五十三年度の渇水の時に他都市に比べ、制限が緩くて済んだのは、本市の水資源開発が先手を打って、供給の余裕があったからです。

新・新中期計画にうたっているとおり、水資源開発の努力は今後も続けていきます。

有収率の向上を図れ

議員 本市の有収率は七十五・三パーセントということですが、

これは、給水した水のうち七十五・三パーセントしか料金に結びついておらず、残り約二十五パーセントは地中に流れ出していることになりま。

漏水をなくすことは、小さな水資源を求める以上に大きな効果があると思いますが、どのような有収率向上対策を立てていますか。

水道局長 五十五年度から新・新中期計画の中で、有収率をもっと上げようということで、色々の施策を行うことにしています。

目標としては、新・新中期計画の終る五十九年度末に八十・一パーセントを目指したいと考えています。これは簡単に達成できる数字ではありませんので、水道局の総力をあげて取り組みたいと考えています。

若年教員の増加にどう対処

議員 五十五年度末の本市の小学校全体の教員の年齢構成は、二十歳台三十二パーセント、三十歳台十七パーセント、四十歳台二十パーセント、五十歳以上二十三パーセントとなっています。

しかし、四十人学級の実施などで、五十六年度の新規採用教員が多かったことから、現在では、二十歳台が約四十パーセントに達していると思われま。

新学期を過ぎると、教員に対する父兄のいろいろな評価が聞かされますが、学校管理者と父兄の間において、若い教員の悩みは深刻なものがあります。

二十歳台の教員が約半数を占めるような時代の到来が確実に予測される中で、どのように対処されるのかおたずねします。

教育長 教員の配置は、従来から、年齢、男女構成、在職年数などを考慮して行っています。

若い教員が増えてきていることは事実であり、年齢構成が片寄らないように、今後とも、十分留意していきたいと思っ。

また、若い教員の指導については、教育センターにおける新採教員の研修、あるいは、経験五年の教員研修などを実施していますが、基本的には、日々の学校における研修指導体制が重要だと考えま。

校長、教頭、教務主任などが中心になり、若い教員の指導力を高めるための校内研修などを、充実させていきたいと思っ。



夜間の漏水調査

秋に協議会の結論

— 空きかん対策 —

議員 政府は、観光地や道路わきに散らばる空きかん等をなくすため、環境庁、総理府、厚生省など関係十一省庁からなる「空きかん問題連絡協議会」を発足させました。

また、各自自治体においても条例の制定に精力的な取組みをしている状況です。

この問題について本市では、その後どのような対策を講じられたのか、また、どう考えられているのかおたずねします。

市長 昨年の十二月に「かん・びん等有価物回収協議会」を設置し、三つの専門委員会それぞれ審議をしています。

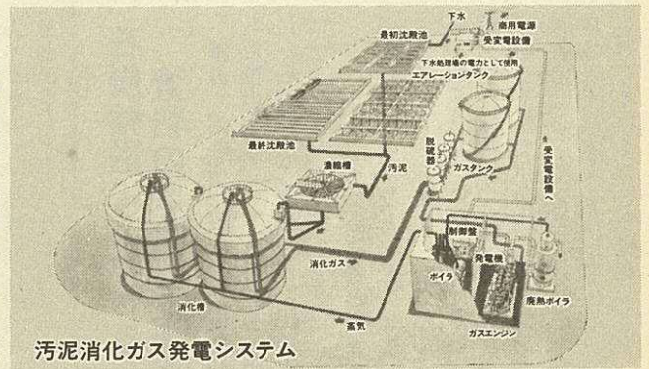
今後、自動販売機の市内における配置状況や市民の意識調査等を行い、今年の秋には協議会の結論をまとめたいと思っています。

また、景観審議会の間答申に基づき、景観作業班（仮称）を二班編成し、近く、かん・びん等の回収活動を開始する予定です。

下水道汚泥ガスで発電

— 日明下水処理場 —

議員 本市では汚泥から発生するガスで発電を行うという画期的実験が進められていますが、これが実用化されると、下水処理場における諸経費の軽減となり、より健全な運営が望まれると思います。現在、どのようなことをやっておられるのか、また、今後の見通しはいかがでしょうか。



汚泥消化ガス発電システム

下水道局長 実験は、エネルギー資源の回収と有効利用の促進を図るために、五十五年度から二年計画で本市が科学技術庁から受託して行っているものです。

日明下水処理場では、一日約九千立方メートルの発生ガスがあり、これを利用して二百キロワットの発電機をか働させ、場内の電力を補てんし、またエンジンを駆動した際に生じる廃熱も回収し消化槽の加温に利用するものです。

現在、最大発電量は、一日四千八百キロワット時で、日明下水処理場の使用電力量の十二パーセントで、年間約三千二百万円の節減になります。

今回の実験の結果をもとに、他の四処理場にも設置し、省エネルギー化を図るとともに、経費の節減を図りたいと考えています。

議員 モノレール建設工事は、各工区で進められていますが、最大の難関とされている平和通り地区の着工が目前に迫っています。小倉停留場から旦過橋間の工事着工時期と交通対策はどうなっていますか。

市長 停留場を中心とした都心の工事は、交通対策が重要な問題であるため、警察、西鉄、その他関係先と綿密な打合せができてから工期を地元で説明し、着工します。小倉停留場工区は、話合いの模様から八月に入ってから着工ということになるうかと考えています。

都心部着工時期はいつ

— 都市モノレール小倉線 —

議員 小倉停留場と国鉄小倉駅を結ぶ地下連絡道、いわゆる動く

優良建築物を表彰

議員 本市の都市景観について基本的な考え方や整備の方向を検討するため、五十五年四月に北九州市都市景観審議会が設置され、調査、審議が進められています。その結果、都市景観の美化を推進する施策の一つとして、優良建築物の表彰制度を設けるとのことですが、この制度の具体的な内容についておたずねします。

市長 六月二十二日に、助役を会長とし、学識経験者、自治会、婦人会等の市民代表十三人で構成する、北九州市優良建築物表彰制度選考委員会が設置されました。表彰対象建築物の基準は、昭和

歩道の着工時期と西鉄電車軌道下に地下広場ができませんが規模、内容についておたずねします。

市長 広さが三十メートル四方の地下広場を設けることで、現在設計を急いでいます。

この広場は、公共用道路と市民の憩いの広場を兼ねたもので、中央部には噴水を配置し、その中に彫刻を設置したいと考えており、必ずや市民に親しまれる広場になると思います。地下広場は十一月頃着工となるかと思えます。

地下広場の工事に続いて、駅前までの地下歩道約二百五十メートル、幅員十メートルの動く歩道を建設することになります。地下歩道の着工時期は確定していませんが、五十八年四月の開通時までには完成させることにしています。

二十五年以降に市内に建築された一戸建て住宅と公共建築物を除く建築物で、風致景観にマッチした建築物であること、建築物の形態や機能が町の文化的ムードを創り出し、高めるために寄与していること、市民の誇りとする建築物または、市民にうるおいを与える建築物であることなどとなっています。

表彰対象建築物の選考については、七、八月の二か月間に募集を行い、現地調査のうえ、来年の二月頃までに優良建築物五件を決定し、三月頃に表彰を行う予定です。また、表彰された建築物については、マスコミヤ市政だよりで市民に発表したいと思っています。

早期建設を望む

— 総合基幹病院 —

議員 本市の新・新中期計画には、保健医療機関の整備として、五十九年度までに、市立総合基幹病院の設置計画を樹立すると定めています。

また、最近、この総合基幹病院の早期完成を望む市民の声が高まってきています。

そこで、老朽化している市立小倉病院の改築、移転計画と併せて、総合基幹病院の建設を考えてみてはどうですか。

病院局長 小倉病院を総合基幹病院として吸収、統廃合する方向で、本年三月に市立総合基幹病院設立専門委員会を発足させ、建設規模や場所、施設の内容、時期等を審議してもらっています。

五十八年度中に方針を得て、計画期間内の五十九年度までに建設計画を策定したいと考えています。



市立小倉病院

早期払下げを

議員 五十四年六月に、本市議
会において、山田弾薬庫跡地の全
面平和利用を原則としながらも、
早期利用のため、部分的払下
げの決議が行われました。

しかし、この三分割案によ
る部分払下げによれば、自衛
隊による三分の一の使用は必
至であり、その結果、再び弾
薬庫として利用されることに
もなりかねません。

市民の生命を守るためにも
三分割による部分払下げでは
なく、全面払下げを要求する
考えはありませんか。

また、払下げに伴う財源対
策はどのようなものになりますか。

市長 山田弾薬庫跡地のような
国有財産の払下げについては、国は、
国有財産中央審議会の答申どおり
三分割方式で払い下げの方針です。
このため、国の方針に添うこと
が、払下げを促進するのではない
かと思えます。

この問題については、議会と共
同歩調で国に要望する考えであり、
先に議会で議決された三分割によ
る部分払下げの線に従って、国に
働きかけてまいります。

まだ防衛庁の要望書も出されて
いませんが、弾薬庫として使用す
ることについては、絶対反対の態
度を北九州財務局に表明しており、
全力をあげて阻止する考えです。

財源の確保は、四十八年に特定
国有施設取得開発基金を設けて五
億円の積立てを行い、現在、十二
億三千六百万円にもなっており、

三分の一の払下げを受けるには十
分な資金となっています。

子供たちの遊び場に

議員 山田弾薬庫跡地を子供た
ちの遊び場として、一時的に
でも使用させてもらうため、
大蔵省福岡財務支局小倉出張
所に要望しています。

市長も、この市民の要望を
理解して、積極的に関係当局
に交渉していただきたいと思いますか。

市長 山田弾薬庫をめぐっ
ては、国会でも論議されました
ように色々な問題があり、財務
局としても神経過敏になって
いるのではないかと思います。
このため、弾薬庫跡地の一
時使用が許可されるには、難
しい情勢だと思えます。

しかし、ご要望はもつともだと
思いますので、財務局に適当な働
きかけをしてまいります。

山田弾薬庫跡地をめぐって

石炭輸送にまつわる

資料の収集・保存を

議員 旧若松市には、洞海湾の
石炭積出港として、その歴史の中
に、石炭輸送にまつわる市民の大
ロマンなどがありました。

ところが近年、石炭輸送の歴史
が忘れ去られようとしています。
そこで、石炭輸送にまつわる資
料の収集を広く市民に呼びかけ、
集まった資料は、建設が予定され
ている若松文化会館内に資料室を
設けるなどして、展示・保存し、後
世の人々に末永く若松文化の一端
を残していくことを提案します。

教育長 石炭輸送に関する資料
などで、若松の文化を知る上で貴
重なものについては、広く市民の
方々のご協力を得て、収集・保存に
努力をしていきたいと思えます。

また、集まった資料の展示など
については、若松文化会館建設の
際に、八幡西市民センターにある
ような資料室を設けるのも一方法
ではないかと考えていますが、検
討させていただきたいと思えます。

地元企業の振興と

雇用対策は

議員 白島石油備蓄基地は、総
工費約千七百億円、備蓄量五百六
十万キロリットルの世界で初めて
の洋上石油備蓄基地であり、市民
の大きな関心のあるところです。

関係漁業組合との補償交渉も解
決し、六月八日に建設・運営を行
う白島石油備蓄基地が設立された
が、今後の具体的な建設スケジュ
ールはどのようになっていますか。

市長 七月下旬には、基地建設
予定海域を北九州港の港湾区域に
編入するための運輸大臣の認可が
おりる見込みです。

今後は、ボーリング調査の結果
をもとに基地の設計を行い、埋立
免許の出願をします。
早ければ、来年の四月には免許
があり、七月に埋立工事に着工で
きるのではないかと思います。

議員 石油備蓄基地の建設に伴
い、本市議会においても、地元企
業の受注の確保並びに雇用の確保
について討議されてきました。
また、県においても、県内の機

械金属、鉄工関係の中小企業を対
象に受注能力調査や受注対策委員
会を結成して、受注に備えている
とのことですが、市としては、ど
のような地元企業の受注対策並び
に雇用対策を進めていますか。

市長 県知事との連名で、日本
石油公団総裁あてに、①工事の発
注については、可能な限り、地元
企業を活用してもらいたい ②地
元以外の企業が受注する場合は、
下請等に積極的に地元企業を活用
してもらいたい ③資材等の調達
は、地元企業を活用してもらいた
い ④従業員等の採用は、地元住
民を優先的に採用してもらいたい
という要望を申し入れ、石油公団
総裁から要望に添うよう努めてい
くとの返事をいただいています。

また、県と合体した組織である
白島石油備蓄基地建設推進本部の
中に、部会を設け、地元企業の受
注体制並びに地元住民の雇用体制
を整えていきます。



六月定例会で、次のかたがたが
決まりました。(敬称略)

人事紹介

- 北九州市教育委員会委員 斎藤登起子
- 北九州市監査委員 竹内 英男
- 北九州市固定資産評価員 高巢 大
- 北九州市固定資産評価審査委員会委員 矢口 親正 久我 文男
- 人権擁護委員候補者 麻生 暁海 向坊 菊子
- 北九州市門司区農業委員会委員 安藤 正之 浜田 順治
- 宮本 直道 安部 誠
- 久保 利男
- 北九州市小倉北区農業委員会委員 松本 静夫 小林恭一郎
- 北九州市小倉南区農業委員会委員 井上 昌太 野口 研一
- 井上 勝二 三村 善茂
- 山家 節夫
- 北九州市若松区農業委員会委員 重田 幸吉 大庭 勇
- 富永 実雄 野依 勇武
- 城戸 武夫
- 北九州市八幡東区農業委員会委員 本田 政光 戸町 武
- 北九州市八幡西区農業委員会委員 中野 利幸 松尾 武
- 鷹木 勝治 有馬 利雄
- 武智 弘